

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	社会福祉法人 博愛福祉会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 ゆとり庵別府
所在地	(〒 675 - 0128 ) 加古川市別府町中島町 26		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

安心した在宅生活を支えられる体制（人員・資格取得）づくりを強化しています。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2024 年 3 月 29 日	従業者等自己評価 実施人数	( 9 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	---------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 4 月 25 日	出席人数（合計）	( 7 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	<input checked="" type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 1 ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員 ( 2 ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 ( ____ ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( ____ ) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( ____ ) 人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 2 ) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	介護・看護ともに研修等への参加や人材育成に取り組んで行く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な職員への研修</li> <li>外部研修の促し</li> </ul>	定期的ではないが外部研修に参加している。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始前のご家族にアセスメント表を記入していただく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来る限り安心したサービス提供ができるように家族に聞き取りをおこなっている。</li> </ul>	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護と介護の連携の強化と医療機関との情報共有ができるよう報告・相談をこまめにおこなう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期、随時のカンファレンスの実施</li> <li>医療機関と連携のためにシステムツールの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サマリーの共有などシステムツールを用いて円滑に連絡相談をおこなっている。</li> </ul>
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活を支えられるよう多彩なニーズに対応できる体制(人員・資格取得)を強化していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得の支援</li> <li>障害者雇用の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資格取得のための研修案内や休日の考慮をしている。</li> <li>障害者雇用促進の部署があり採用に関して、相談をおこなっている。</li> </ul>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	<ul style="list-style-type: none"> <li>短期的に達成可能な目標を計画し生活の維持だけでなく、向上を目指す内容とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リハビリスタッフと協力し、体力の維持向上に努める計画を立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフ間での共有を図り、専門職でなくても行えるようにするのが課題。</li> </ul>	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	基本となるシステムは構築されており、利用者様、ご家族様からも評価を頂いている。職員間の意識統一が今後の課題であり、カンファレンスや研修の機会を設けていきたい。	カンファレンスの実施予定が延期になったり、時間の確保が難しかったりと十分な内容とならないことがあるため、時間の確保ができるようにスケジュール調整をおこなう。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者様の変化に対して情報の共有に励んでいます。以前の暮らしにフォーカスしたアセスメントを取り入れていきます。	定期的なカンファレンスを実施し、情報の更新をおこなっている。次年度には個別マニュアルを作成できるように準備をおこなっている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	システムツールを用いて医療機関とのやり取りを円滑に進めます。	現状維持。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)	地域交流はありますがまだまだ少ないです。別府町ささえあい協議会、ネットワーク会議、2市2町でおこなっている小多機看多機連絡会への参加を継続します。	地域交流に積極的に参加していく。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	地域の中で自施設があることにより、安心して在宅生活を送れること、在宅で最期を迎えられるようにできる事業所を目指します。そのための勉強会を充実させていきます。	勉強会を充実させていく。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>I 事業運営の評価 [適切な事業運営]</b>							
<b>(1) 理念等の明確化</b>							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	0名	6名	2名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ①～⑤の全てを含む理念等がある場合は「よくできている」</li> <li>✓ ①～⑤の一部を含む理念等が掲げられている場合は、「おおよそできている」もしくは「あまりできていない」</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 無回答 1名 ・状態にあったプランは作成しているが、家族の思いが聞けていないことがある。 ・自宅での看取り件数は少なく、おもに事業所内が多かった。 ・都度カンファレンス実施し、サービス内容見直しをおこなっている。					
2	○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している	0名	5名	2名	2名	全くできていないに回答した2名の職員とはどのような理由か。 ・事業所としての理念について把握不足であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「サービスの特徴および理念等を踏まえた実践」の充足度を評価します</li> <li>✓ 独自の理念等が明確化されていない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 無回答 0名 ・サービス内容を家族に説明し実践している。 ・価値観生活観を大事にして現場プランを作成している。 ・理念がわからない。意識できていない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
<b>(2) 人材の育成</b>							
① 専門技術の向上のための取組							
3	○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している	0名	4名	2名	2名	育成計画はないように思う職種とは何か。 ・介護職。新卒に対しては育成計画があるが、中途採用となると個人の目標を基に能力に応じ育成方法を検討しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します</li> <li>✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」</li> <li>✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・育成計画はないように思う。 ・育成計画を作成したが、時間があわず実践できなかった。					
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	2名	5名	1名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・資格取得することができた。 ・外部研修に参加できた。 ・勤務中に動画研修をしている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	3名	6名	0名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「情報を共有する機会」の充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます</li> </ul>
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 0名 ・定期的なカンファレンスの実施。 ・情報共有ツール使用している。 ・会議議事録作成し回覧している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(3) 組織体制の構築</b>							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	0名	3名	1名	4名	周知されていないのであれば運営推進会議の会議録の回議をおこなってはどうか。	✓ 「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・R5年6月より集合会議を実施している。 ・会議に参加していない。 ・運営推進会議が何かわからない。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	2名	7名	0名	0名		✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 0名 ・業務分担や職員間でコミュニケーションがとれている。 ・急な用事であっても勤務調整できている。 ・個人負担を軽減できるようにスケジュール管理をおこなっている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(4) 情報提供・共有のための基盤整備</b>							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	1名	8名	0名	0名	<p>✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の2つの視点から、充足度を評価します</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            無回答 0名            ・チャットワークを利用し情報共有をおこなう。            ・定期的なカンファレンスの実施。            ・アセスメントシートを作成。            ・連絡ツールとしてPC、紙(特記事項記載)、ホワイトボードを活用している。</p>					
<b>(5) 安全管理の徹底</b>							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	0名	5名	3名	0名	<p>✓ 「各種の事故に対する予防・対策」の充足度を評価します            対策が求められる事項としては、例えば「医療・ケア事故の予防・対策」、「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対策」、「個人情報保護」などが考えられます</p>	
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            無回答 1名            ・ヒヤリ、事故報告書の作成。            ・PCデータの持ち出し禁止。            ・交通や防犯対策は個人で気を付ける。            ・災害時の避難経路や訓練は定期的に実施している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>② 災害等の緊急時の体制の構築</b>							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	0名	4名	2名	3名	令和6年度よりBCP義務化となり、不安に感じている従業員が多く見受けられる。研修・訓練で役割分担や初動対応を確認して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 無回答 0名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気ガス水道が止まればサービス継続はできないと思う。・緊急時のマニュアルを知らない。・連絡網の作成。</li> <li>・環境が整っていない。(廊下に物がある)</li> <li>・定期的に訓練を実施している。</li> </ul>					
<b>II サービス提供等の評価</b>							
<b>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供</b>							
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>							
<b>① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施</b>							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが行われている	1名	6名	1名	1名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメント」の充足度を評価します</li> <li>✓ ケアが包括的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、家族等も含めた24時間の暮らし全体に着目したアセスメントが必要となります</li> </ul>
		<b>[具体的な状況・取組内容]</b> 無回答 0名 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での様子の聞き取りし、アセスメントをおこないサービス提供している。</li> <li>・アセスメントシートを個別で作成している。</li> <li>・1日の流れを把握できていない。</li> <li>・随時家族より聞き取りをしている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	1名	6名	2名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます</li> </ul>
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	0名	8名	1名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	0名	5名	4名	0名	利用者の生活歴やちょっとした会話などからご本人が興味関心を持ち、有する能力を活かしたサービス提供ができることを期待します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます</li> </ul>
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	0名	7名	2名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します</li> <li>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践</b>							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	0名	7名	2名	0名		<p>✓ 「早期の把握」と「計画への適宜反映」の2つの視点から、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            無回答 0名            ・情報収集をおこない伝達しているが、計画への反映は都度ではできていない。            ・半年に一度は計画更新しているが状況変化が早く計画に反映できていない。            ・計画に都度反映させている。</p>					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	1名	7名	0名	0名		<p>✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します</p> <p>✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u>            無回答 1名            ・その都度の状態に合わせてサービス調整がおこなっている。            ・介護度、生活状況を踏まえてサービスを提供している。</p>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	1名	6名	1名	0名		<p>✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係多職種との情報共有」について、充足度を評価します</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態変化あればすぐに主治医に報告し指示を受けるようにしている。</li> <li>・介護職、看護職で連携している。</li> </ul>					
<b>(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が行われている	1名	7名	1名	0名		<p>✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します</p> <p>✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です</p>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 0名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスでの意見交換や接遇について随時連携がとれている。</li> <li>・看護職と相談しやすい。</li> <li>・看護職、介護職それぞれの業務をおこなえている。</li> <li>・協力して業務をしているが、看護職の負担が多そう。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	2名	4名	1名	0名		✓ 「介護職と看護職の情報共有および対応策の検討」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 2名 ・カンファレンス以外でも情報交換をおこない都度対応策を検討している。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	1名	5名	2名	0名		✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・情報提供など詳細は出来ていないことがある。 ・チャットワークで注意点など情報共有している。					
<b>(4)利用者等との情報及び意識の共有</b>							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1名	5名	1名	0名		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 2名 ・パンフレット等を使用しわかりやすく説明をおこなっている。 ・わかりやすく説明できていない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	1名	5名	2名	0名		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・都度留意すべき点は口頭でわかりやすく説明をおこなう。 ・ケアプラン新規作成時などに詳しい説明をしている。					
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	0名	5名	1名	0名		✓ 「利用者等の理解」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 3名 ・ケアが必要であれば、理解できるまで一緒におこなっている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1名	6名	0名	0名		✓ 「サービス提供への適切な反映」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 2名 ・家族の希望や意向を把握するようにしている。 ・十分な説明をおこなった上でサービスの変更を実施している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	1名	4名	1名	1名		✓ 「将来に発生し得る様々なリスクを想定した上での、対応策の検討と共有」について、充足度を評価します
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 2名 ・将来の状況については考えられる状態を説明し情報の共有をおこなう。 ・都度確認をしている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	0名	4名	2名	2名		✓ 「予後および死までの経過の説明」と「記録の有無」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として残している」場合は「よくできている」
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 1名 ・説明と以降は記録として残している。 ・状態変化あれば家族に説明しているが、詳細は記録できていないことがある。					
<b>2. 多機関・多職種との連携</b>							
<b>(1) 病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供</b>							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	2名	3名	0名	1名		✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます
		<u>[具体的な状況・取組内容]</u> 無回答 3名 ・コロナ禍により退院前カンファレンスが出来ないことがある。 ・カンファレンス参加、主治医と連携している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	3名	3名	0名	2名	主治医と話すことがないというのはどういうことか。 ・介護職の場合、なかなか主治医と話しする機会がない現状であります。基本的に医療職との連携は看護職が担っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します</li> <li>✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>無回答 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医より説明おこない緊急時の対応について話し合いがおこなわれている。</li> <li>・連絡体制は整えられているが、随時の情報共有は十分にできていない。</li> <li>・主治医と話すことがない。</li> </ul>					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	4名	3名	1名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>無回答 1名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急変時、主治医への連絡先が把握できている。</li> <li>・緊急時の連絡体制が出来ている。</li> <li>・コール体制がある。</li> <li>・すべての利用者については把握不足。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できている	あまりで きていな い	全く できていな い		
<b>(2) 多職種との連携体制の構築</b>							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	0名	0名	1名	0名	施設利用者が地域との交流できる場を情報提供していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します</li> <li>✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」</li> <li>✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です</li> </ul>
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>							
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	0名	0名	1名	0名	会議で出た意見を事業所内で共有できるように周知して下さい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」の2つの視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき ている	およそ でき ている	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	0名	0名	1名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な啓発活動」について、評価する項目です</li> <li>✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。</li> <li>✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます</li> </ul>
<p><b>(2) 医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮</b></p> <p>① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供</p>							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	0名	0名	0名	2名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください</li> <li>✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施していない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2名	3名	2名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
36	○ 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	1名	1名	2名	3名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あまり でき てい ない	全く でき てい ない		
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	4名	3名	0名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください</li> <li>✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」</li> <li>✓ 「あまりできていない」～「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します</li> </ul>
<b>(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	1名	1名	3名	1名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます</li> <li>✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などが無い場合は、「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、(特定の建物等に限定しない) 地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2名	3名	1名	0名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します</li> <li>✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます</li> <li>✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」</li> </ul>
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	0名	3名	1名	3名	<p>地域住民への交流不足に関して対策はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の会議においても問題提起しているところであり</li> <li>ます。交流の機会があれば参加させていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく でき てい る	およそ でき てい る	あま り で き て い な い	全 く で き て い な い		
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	0名	2名	3名	2名		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護力の引き出しや向上のための取組」について、その充足度を評価します</li> <li>✓ 今後は、利用者への家族等や近隣住民の関わりを促しながら、関係者全員の介護力を最大限に高めることにより、在宅での療養生活を支えていくための環境を整えていくなどの役割も期待されます</li> <li>✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」</li> </ul>
		<p><u>[具体的な状況・取組内容]</u></p> <p>無回答 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問40と同様</li> <li>・ご家族様には指導という形でおこなえている。</li> <li>・ホーリングケア（NLC）を家族への指導にも活かしている。</li> </ul>					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<b>Ⅲ 結果評価</b>				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1=0名 2=3名 3=3名 4=0名 無回答 3名 ・安心安全な生活環境の整備がおこなわれている。		✓ 「計画目標の達成」について、評価します
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない  <u>[具体的な状況・取組内容]</u> 1=1名 2=4名 3=1名 4=0名 無回答 3名 ・看護師主体でアプローチしています。		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	<p>1. ほぼ全ての利用者について、達成されている</p> <p>2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている</p> <p>3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている</p> <p>4. 利用者の1/3には満たない</p> <p>5. 看取りの希望者はいない</p> <p><b>[具体的な状況・取組内容]</b></p> <p>1=3名 2=2名 3=0名 4=0名 無回答 4名</p> <p>・ご家族様への説明、サービス内容の変更などで安心感を提供することができています。</p> <p>・面会ができ急変、看取り時の対応が確保できている。</p>		<p>✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します</p> <p>✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます</p> <p>✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5. 看取りの希望者はいない」</p>